

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	稚内
-----	------------	-------	-----	-----	----

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 2 8 1, 0 0 0 千円	
年 効 用	②	7 9, 2 6 8 千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	4 3 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0. 0 5 0 7	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	1, 5 6 3, 4 7 1 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 2 2	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	畜 産 物 生 産 効 果	3 5, 7 1 8	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数及び販売頭数（生産乳量）の増加 対象家畜：肉用牛、乳用牛
農業経営向上効果	営農経費節減効果 走行経費節減効果	4 3, 5 5 0	草地及び農道の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
計		7 9, 2 6 8	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	はまなす第1
-----	------------	-------	-----	-----	--------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	2,950,500千円	
年 効 用	②	237,533千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	24年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)	⑤	0.0677	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥=②÷⑤-③	3,508,611千円	
費 用 便 益 比	⑦=⑥÷①	1.18	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	畜産物生産効果	137,908	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数及び販売頭数（生産乳量）の増加 対象家畜：肉用牛、乳用牛
農業経営向上効果	営農経費節減効果	88,197	草地の整備による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：牧草
畜産環境の保全・向上	畜産環境整備効果	11,792	家畜排せつ物処理施設等の整備による畜産環境の改善及び有機質たい肥等の活用
維持管理費節減効果	維持管理費節減効果	△364	雑用水の整備に伴う維持管理費の増
計		237,533	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	道央石狩
-----	------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	1, 0 9 8, 2 8 0 千円	
年 効 用	②	1 1 8, 4 5 1 千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	1 5 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0. 0 9 2 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	1, 2 8 3, 3 2 6 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 1 6	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	畜 産 物 生 産 効 果	1 1 8, 4 5 1	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び販売頭数（生産乳量）の増加 対象家畜：肉用牛、乳用牛
計		1 1 8, 4 5 1	

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	草地畜産基盤整備事業	都道府県名	北海道	地区名	空知南部
-----	------------	-------	-----	-----	------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費	①	2, 5 0 1, 5 6 5 千円	
年 効 用	②	2 4 8, 0 8 8 千円	
廃 用 損 失 額	③	— 千円	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数	④	1 5 年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0. 0 9 2 3	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	⑥＝②÷⑤－③	2, 6 8 7, 8 4 3 千円	
費 用 便 益 比	⑦＝⑥÷①	1. 0 7	

2. 年効用の総括

項 目		年効果額（千円）	効果の内容
農作物の生産量の増加	畜 産 物 生 産 効 果	2 4 8, 0 8 8	草地の整備等による牧草収量の増加に伴う飼養頭数増及び販売頭数（生産乳量）の増加 対象家畜：肉用牛、乳用牛
計		2 4 8, 0 8 8	